

会 議 録

会 議 名	令和5年度 第4回東浦町部活動の地域移行推進協議会	
開 催 日 時	令和6年3月19日(火) 午後7時から午後9時まで	
開 催 場 所	はなのき会館 研修室	
出 席 者	委 員	二宮 立美 氏 (会長)、平野 俊之 氏 (副会長)、 坂部 博幸 氏、二村 圭史 氏、杉本 匡彌 氏、 行徳 真弓 氏、新美 佳三 氏、長坂 恒幸 氏、 浅田 潤一 氏、大原 可奈 氏
	事務局	横井教育部長、畔上学校教育課長、松尾学校教育課主 幹兼指導主事、瀬之口学校教育課統括課長補佐兼指 導主事、佐東生涯学習課長、関生涯学習課長補佐、近 藤生涯学習課主事、杉浦スポーツ課長、永井スポーツ 課統括課長補佐、重野スポーツ課係長
議 題 (公開又は非公開の別)	<p>1 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひがしうら地域クラブ」活動の現状について ・指導者 (代表者)、会員アンケート調査結果について ・令和6年度「ひがしうら地域クラブ」の運営について <p>2 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 東浦町の新たな地域クラブ活動に関する方針について (2) 「ひがしうら地域クラブ」追加立ち上げ種目について (3) 「親しむ」活動と「競技力向上を目指す」活動の考え方について (4) 夏季 (熱中症等) 対策について 	
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)		
傍聴者の数	1名	
審 議 内 容 (概 要)	委員の出席及び会議の成立を確認 傍聴者の確認及び傍聴の許可 議題の審議内容等は、別紙のとおり	
備 考		

会長あいさつ

1 報告事項

事務局・・・	<p>資料1をご覧ください。昨年度の9月から「ひがしうら地域クラブ」として活動しています。1番、令和5年度立ち上げたクラブは9クラブ、吹奏楽はそれぞれの各学校で活動していますので、全11活動となります。</p> <p>2番は活動日数と参加者数です。前回の協議会でも9月、10月分を報告しましたが、その続きで表の面に11月と12月、裏面は1月と2月、それぞれの活動日の参加者数をまとめています。こちらの1、2、3の資料ですが、今週金曜日に各クラブ代表者会を開催します。この資料はその会にも提出する資料となります。</p> <p>参加者数に関しては、今年4月からが本来のかたちなので「多い」「少ない」を評価するものではありませんが、12月までの5クラブの状態では、月の参加者は延べ150人程度。今年の1月から新しいクラブを立ち上げて9クラブの状態では、月の参加者は延べ300人程度の参加でした。</p> <p>活動の参加率ですが、今は指導者の方々は参加者が1人でも大きな価値があるとテスト週間や行事があっても開催しています。そのおかげで正確な数字が取れているのですが、このデータを指導者の方々に還元しつつ、来年度は年間40回、これは当初から言っていますが、指導者の健康面も考えて、1年間52週のうちの年間40回の制限をつけて活動をしていく予定です。このデータを参考にして「開催する日」「やめる日」を考えながら取り組むように伝えます。</p> <p>裏面の3番、活動の拡大状況について、令和5年度の立ち上げ時はスポーツに親しむ活動ということから始めました。実際に会員が来て、指導者が指導する中で活動を拡大しているクラブがあります。それを紹介します。バスケットボールクラブでは、他地区の中学校チームを招いて練習試合等を実施しています。今は計4回で、女子は2年生が多いため、応じてくれる相手がいたため女子からのスタートとなりましたが、3月末に男子の相手を招いた練習試合を実施する予定です。</p> <p>ハンドボールクラブでは高校生との交流会を計2回実施しています。また、午後からスキルアップ講習会として競技力向上を希望する会員のための活動を実施しています。</p> <p>剣道クラブでは、10月の生徒と指導者へのアンケート結果で、防具の移動で送迎の負担が大きいなど、北部中の会員から多くの声が挙がっていました。よって、基本は東浦中を活動場所としますが、北部中学校武</p>
--------	--

道場での活動も実施しています。また、ここには記載がありませんが、東浦高校剣道部との交流会を実施しました。

最後にバレーボールクラブです。他地区との交流会を実施しました。大府 JVC という小学生のチームです。今後は片葩 JVC を呼んで小学生に直接見てもらうことによって、「ひがしうら地域クラブ」の普及活動になればと思っています。

次に、資料 2 です。指導者と会員に行ったアンケート調査結果です。

まず、最初に指導者のアンケート調査結果ですが、その中で気になるものを述べます。サッカークラブについては、指導者の様子、会員の様子の項目です。参加者が少ないために活動にバリエーションが生まれないう悩みがあります。この 4 月から新しい 1 年生が入って、学校の部活動が始まる前からひがしうら地域クラブの活動ができるので、いろんな運動を試してみたいという希望をもった会員が入ってくれることを願っています。

次に裏面のバスケットボールクラブですが、(3) の気になる点で、「西部中の会員が少ない」という意見がありました。そこで、剣道クラブの活動と近いですが、現在は東浦中会場で活動していますが、西部中の生徒を増やしたいということで、部分的に指導者の方々と西部中で活動ができないかということ話し始めており、今年中に何とかできないかと考えています。

次に、ハンドボールクラブです。特に (4) 用具のところですが、「いろいろと購入をしてくれてありがたく、活動に困らないような設備になっている」との評価をもらっています。ただし、「高額な物や特殊な物の購入はあるのか」という件に関しては、現在、参加料をできるだけ安くしているので、物品の予算がない状況です。立ち上げから学校の備品を共有して運営しているため、高額な物の購入は難しい現状です。高額な物を購入するには、参加料を値上げする必要がありますが、今は低額な額で運営したいという考えがあるため、学校の備品を今後も共有して運営していく予定です。

次に、剣道クラブでは (4) 活動日時、活動場所、用具等の良い点で、「トライアル的に 2 か所で行っているが会員には好評で、今後登録者が増えることを期待している」とあります。2 か所の会場で開催した結果、参加者も安定的に増えて好評でした。ただし、気になる点では、「北中には防具がない」という問題があります。今の剣道クラブの子はみんな防具を待っている子なので活動ができています。来年度、剣道を経験したことがない子も入ってくる可能性があるため、様子を見ながら北部中会場もしくは他のところでの開催を検討していきます。また、防具を

北部中学校にも常備できるように、貸してもらえないかなど検討を進めていきます。

柔道クラブは（５）その他で、「体育館に名簿を取りに行ったり返したりが結構大変」という意見がありました。指導者の皆様には面倒をかけているわけですが、個人情報が含まれることや、学校の鍵をなくすと鍵の本体から付け替える必要があることから、基本は直前に体育館に取りに来てもらい、終わったら返すというかたちをとっています。中学校近くのふれあいセンターやコミュニティセンターに置く方法もありますが、その場合名簿の変更ができなくなるので、活動日の直前に申し込みをした生徒の参加ができなくなってしまいます。できる限り参加できるよう従来のやり方を継続する予定です。

次に軟式野球クラブについて、（１）会員の様子についてのよい点で「野球経験者だけでなく、地域クラブのメリットを活用し未経験もしくはそれに近い生徒も来ている」「野球は好きだけどやったことがなかったので体験できる場所があってありがたい」という意見がありました。野球は１月に立ち上げましたが、実際に部活動ではサッカー部やバスケットボール部、卓球部に所属している子も来ています。西部中学校には野球部がありませんが、西部中学校からも野球がやりたい生徒が来ています。北部中学校には野球部はありますが、北部中学校の野球部でない生徒も来ています。野球は平均 20 人程度の参加者がいるため、毎回活発な活動ができています。また、野球部ではない生徒たちがお互いに情報交換をし合いながら卓球クラブにも行ってみようとして、翌日にみんなで卓球クラブへ来るなど、新しいコミュニティもできてきています。新しい関係性が生まれてきているのは、地域クラブの方針としてうれしい姿だと思っています。

次にバレーボールクラブです。（３）の気になる点で、「集まる時間がバラバラなのでスタートが合わず、アップができないまま練習に参加すると怪我につながらないかと多少の心配はあります」という意見がありました。これは地域クラブの重要な部分です。国の第 3 期スポーツ基本計画の理念に則り、集合時間がなく、気軽にアクセスできるクラブ運営をしています。そして、指導者として最も重要な業務は、ウォーミングアップ等の安全管理であることを伝えていきます。全体の活動とのバランスをとることは大変だと思いますが、そのために必ず複数名での指導としていますので、この方針は大切にしていきたいと思っています。指導者には、代表者会にて再度確認し、共通理解を図ります。

次に、卓球クラブです。卓球は参加しやすい雰囲気があるのか、最初は卓球部の子しかいなかったのですが、徐々にそうでない子も参加し始

めて、今は半々ぐらいになる日もある状況で、このクラブだから経験できるという要素が増えていることをうれしく思っています。

吹奏楽クラブについてです。吹奏楽は3中学校でそれぞれ分かれて活動をしているので、北部中学校では(3)活動内容についてのところで、自主性を重視していて、部活動以外の楽器にチャレンジするとか、普段やっていない楽器に挑戦をする子が多いという状況です。前回、見学をさせてもらったとき、指導者の方がバイオリンを持ってきて紹介するなどといったことも行ってきています。

東浦中学校は、どちらかという子供たちのニーズが部活動の続きをしたいという雰囲気が強いため、指導者の方々がコンクールに近い子供だけを別に集めて指導するとか、子供のニーズに合わせて取り組んでくれています。

西部中学校では、少人数を生かして手厚く指導ができて、会員との距離も近く、名前呼び合うなど、アットホームな雰囲気で活動をしている様子です。それぞれ3中学校が特色のある活動をしています。そこで共通して気になっていることとして挙げられたのが、「楽器の確保」についてです。来年度4月に吹奏楽でない子供も入ってくるのですが、今のところ北部中と西部中は部活で余っている楽器を貸し出し、東浦中では生涯学習課が管理している楽器を貸し出して対応することになっています。そこは、生涯学習課を通じて指導者の方々にも伝えていきたいと思えます。また、3中でやっているからこそその意見として、「3中の会場の連携や指導者との交流をしてみたい」という意見が挙げられました。これも今後、検討していきたいと思えます。

次に会員のアンケート調査に移ります。このアンケートは10月にも同じように実施しました。今回も同じように、ひがしうら地域クラブ会員180名に対して無記名のアンケートを実施しました。56件の回答がありました。2:6:2の原理ではないのですが、回答してくださるのは満足度が高い2割、満足度の低い2割が想定できますので、そうすると56件という数字は妥当かなと思えます。また、アンケートに答えてくれた会員の内訳も前回と同じような数字になっています。学校の所属も会員の割合と同数程度。学年の割合も1、2年生で半々、性別も男女で半々でした。

裏面に行きまして、(4)参加したクラブは希望クラブの会員数の割合とおおよそ同数で、すべてのクラブから意見がありました。(5)入会した目的も前回の意見と同様の結果となっています。円グラフ左の半数が部活動を補充するため、半数がスポーツに親しんだり、健康維持だったり、新しいスポーツにチャレンジしたりすることを目的としています。

(7) 入会を決めた理由について、一番多かったのは「活動場所が学校施設だから」でした。子どもたちにとって学校施設が活動場所であることが入会の最大の要因になっていることが分かりました。次に多かったのが、「出欠連絡が不要であり、気軽にアクセスできるクラブだから」です。こういったクラブはまだ少ないと思います。そこに評価を感じてくれているのだと認識しています。この2点、後ほど影響してくるので、学校施設が活動場所だから参加したというところと出欠連絡が不要だからという部分を頭に残していただければと思います。

次からは、実際の会員一人ひとりの意見です。前回も会員から出た意見は直接指導者に情報提供していますが、意見の隣に「サッカークラブ」と書いてありますが、前回ほどのクラブ参加者からの意見かを書かずにまとめて渡していました。しかし、私が活動中に指導者と話をしていると、会員のためになっているのリアルな声を知りたいという声がたくさんありました。よって、今回は直接このクラブの子がこう言っているということを指導者に代表者会で届けようと思っています。このような意見を参考にして、活動内容をより会員のニーズに応えられるような活動にしていきたいと思います。

資料3です。令和6年度ひがしうら地域クラブの運営についてということで、今年度と変わる部分をお伝えしたいと思います。1番、会員の参加料について、今年度の立ち上げ時は5クラブで選択肢に限りがあったので、月額500円で始めました。今は、9クラブ11活動と選択肢を増やしているため、来年度は月額1,000円で運営を行っていききたいと思います。月額1,000円の考え方です。町の子どもへの事業で受益者負担の観点で計算すると、本来であれば月額1,903円かかります。しかし、国の示すガイドラインや東浦町の現状を見て、できる限り低廉な額で運営していきたいので、1,000円として来年度は運営をしていきます。愛知県教育委員会の担当者からは、愛知県内市町村の地域クラブの参加料の平均は3,000円程度になるとのではないかと聞いています。東浦町は先行して運営しているので、保護者の理解を得ながら発展していくためにも1,000円で運営していきたいと思います。また、網掛けのところ、今年度は要保護・準要保護家庭は参加料0円でしたが、来年度は参加料が1,000円になるので、児童クラブなどの減免と同様に2分の1負担とし、月額500円になります。

2番、来年度からアプリを導入します。それによって会員登録、スケジュール管理、情報発信、出欠管理、オンライン決済、保険加入等が一括してできるようになる予定です。別紙でアプリについてまとめたものがあるので、別紙1をご覧ください。我々が導入しようとしているアプリ

は、Sgrum（スグラム）といいます。スグラムは2、3ページに記載があるように、FC東京や千葉ジェッツなど、バスケットボールやサッカーなどのプロチームが採用しているアプリになります。4ページ目をご覧ください。福知山ユナイテッドと言いまして、地域移行という流れの中で、先行的に行っている団体もこちらのアプリを導入している実績もあります。これらの状況から、この「スグラム」というアプリを導入しようと思います。このアプリを使うと会員の登録ができるようになることはもちろん、8、9ページのように、スケジュール管理ができるようになります。出欠の確認もできます。

その下、情報配信も可能となります。今は、雨で中止というときは、自分で町のホームページを見てもらう方法ですが、こちらから中止であるということアプリで発信できるようになります。町のホームページだと休日は更新できませんが、アプリになると、いつでも地域クラブの担当者から直接対応できるので、そこが大きなメリットです。

9ページの下、決済については、アプリでクレジットカード支払いが可能となります。今は現金のみで、すべての方々に東浦町の体育館の窓口に来てもらっていますが、来年度からクレジットカード支払いと現金支払いを選択できるようになります。これによって体育館に1度も来てもらわなくても参加することが可能になるので、保護者の負担は軽減できると考えています。

15ページ、保険についてです。このアプリには保険機能も付いています。来年度は導入せずに町のふれあい保険を採用していきますが、将来的にこのアプリの保険が適応できれば、今は町外に出ることが保険の補償関係から難しいのですが、町外に出て大会等に出場することも可能となります。このように、このアプリを導入することで、今後活動を拡大したときに、課題となるであろうことにも対応できるようになるため、導入を進めていきます。

資料3に戻って、2のアプリ導入についての「※出欠管理は可能になりますが」という部分をご覧ください。先ほどのアンケート結果で、地域クラブのよさとして、出欠連絡が不要で、気軽にアクセスできることが多く挙げられていたことや、国のスポーツ基本計画の中にも気軽にアクセスできる環境を構築するという理念があることから、その方針に則って、今後も出欠は取らない方針で行きます。ただし、機能的には出欠を確認することができるため、練習試合や交流試合など特別な活動を行う場合にのみ、指導者から要望があれば出欠を取るようなかたちで活用していきたいと考えています。

	<p>3番、指導者数についてです。令和5年度は120名の登録の内、92名で活動を行っております。令和6年度は4名増えて96名で活動する予定です。内訳は下記のとおりです。その他のまだ立ち上がっていないクラブを希望する指導者の数も下に記しています。</p> <p>4番、指導者養成講習会についてです。ひがしうら地域クラブは、資格等は必要ありませんが、必ず町が主催する指導者養成講習会を受講することを条件としています。今年度は4回開催しました。延べ100人近くの指導者が受講を修了しています。今のところ残り20から30名弱の方が受けていないのですが、その方に対して第1回を7月から8月頃、第2回を1月から2月に開催する予定です。</p>
会長・・・	<p>まず、資料1について質問ありますか。</p>
会長・・・	<p>資料2について、アンケート結果について質問はありますか</p>
委員・・・	<p>柔道クラブの先ほどの説明がよく分からなかったのですが、体育館に名簿などを取りに行ったり返したりが森岡からだ大変とはどういうことですか。</p>
事務局・・・	<p>活動の前にメディアス体育館ひがしうらに鍵と名簿を取りに来て、また北部中学校に戻るという動きをしているので、そこが大変ということですか。改善策としては北部ふれあいセンターに置くという方法もあるのですが、そうするとだいぶ前から名簿とかを送ることになります。申込んですぐ参加したい生徒の対応ができなくなってしまうので、今は子どもファーストで、体育館で管理して持って来てもらうことにしています。</p>
委員・・・	<p>子どもファーストとどういう関係があるのか分からない。鍵を取りに来るのが大変だということはよく分かりましたが、それを維持するために、子どもファーストということを説明されたのがよく分かりません。</p>
事務局・・・	<p>随時募集をしているので常に申し込みがきます。金曜日に申し込みをする生徒もいて、聞くと出来れば明日から参加したいという要望が多いです。そうすると、その時点でファイルの名簿一覧をすべて差し替えて、最新の状態にして指導者さんに渡しています。北部ふれあいセンター等に持っていくとなると、それよりだいぶ前の時間に渡しておかない</p>

	<p>といけなくなるので、金曜日に申し込みがあっても間に合わないので来週でということになってしまいます。名簿に名前なしで参加させるということもできますが、トラブルの原因にもなりかねないので、今はこちらで一括管理をして会員の要望にすぐ応えられるようにしているということです。</p>
委員・・・	<p>今の流れで、その名簿というのは先ほど説明があった「Sgrum」を利用することで解決するという手立てはないのでしょうか。</p>
事務局・・・	<p>ゆくゆくはできると思います。半年前から紙媒体での名簿でやっていて、指導者も100人近くいるので、事務局と指導者のミスで子どもたちに不利益が出ないように、しばらくは併用してやっていく予定です。</p> <p>「Sgrum」の機能・使い方を指導者に周知していき、将来的に名簿をなくすことは考えていますが、令和6年度の当初は従来の紙名簿で運用しようと思っています。</p>
会長・・・	<p>なるべく早くお願いします。先ほどのアプリはとてもよいのでぜひ導入を進めてください。</p> <p>あと資料2について気になることはありますか</p>
委員・・・	<p>いろいろ吹奏楽を立ち上げてもらってありがたいです。</p> <p>場所をたくさん使いたいという子どもの気持ちはよく分かるので、音楽室は子どもの物が置いてあるので無理だと話をしましたが、鍵付きの保管箱を町が用意してもらえればよいと思います。お金がかかるのは直ぐには無理だと思いますが、是非こういった解決策を相談してもらえば、こちらも相談に乗れると思っています。</p> <p>いろいろな方がいろんな所を探してくれているみたいなので、入ればいいなと思っています。暑くなるとエアコンがある部屋かな、そうすると今の部屋だけでは苦しいのかな、他のところでもそういったことは出てくるのかなと思いますが、お金がかかるからできないというのは分かるけど、歯がゆいなという気がしています。</p>
委員・・・	<p>今の発言の委員の意見に私も同感で、要するに子どもファーストという言葉が使われたという関係でいけば、ロッカーが一つあるだけでその部屋が使えるということですので、一つの部屋で東浦中の場合は3つか4つに分かれて練習しているわけです。他の部屋が使えれば音が混ざるといったことは解消されると思う。冬場は廊下でやっていたのですが、と</p>

事務局・・・	<p>でもそれは子どもファーストとは言えない状態なので、これは至急改善していただきたい。</p> <p>一部の指導者の方からそういった言葉があることは知っています。現状がどのような様子になっているかも拝見して把握しています。</p> <p>ただし、他の指導者の方からは音楽準備室も開けてほしいという声もあります。いろいろな方のいろいろな考え、いろいろな声があるので、最初に言った予算の問題、これに関しては生涯学習課のみでは解決できないため、既に学校教育課と状況は共有しています。よって、今後いろいろな方の考えを伺いながら検討していきたいと考えています。</p>
会長・・・	<p>指導者の方からの情報もまとめてもらって、それを事務局に挙げて、少しでも良い方向に向かえばいいと思います。</p> <p>その他、資料2について質問はありますか？</p>
会長・・・	<p>資料3についてお願いします。</p>
委員・・・	<p>1番の②、730万6千円の算出方法、年40回とか1回の人数とかあると思いますが、教えてもらえますか？</p>
事務局・・・	<p>730万円余の内訳です。スポーツ活動が約520万円ほど、残りの200万円ほどが文化活動です。時給が1時間1600円の方に1回3人×3時間×全9活動×年間40週という計算で算出しています。</p>
委員・・・	<p>活動は9クラブですか？</p>
事務局・・・	<p>令和6年度については、スポーツが9クラブ分、文化が2クラブを予定しているので、全部で11クラブです。</p>
委員・・・	<p>先ほど道具の事が問題になっていましたが、吹奏楽でうまくいった場合に心配されることは、地域クラブは3年生も入れることになっているので、楽器が足らなくなる事を心配しています。現状では部活で使っている楽器をそのまま自分たちで使っている場合が多いですが、1年生が入って来た時にそのまま上がると1年生が使う楽器がなくなってしまう可能性があるため、小学校にある楽器を一定整備して各中学校に配付するなり、文化センターに集めるなりして活用できるようにしてもらいたいです。また、壊れている楽器があるので修理する予算を取ってもらわ</p>

事務局・・・	<p>ないと、もし希望者が多くなつたときにはパンクをしてしまうし、自分のやりたい楽器ができなくなってしまう可能性があるので、その辺を検討してもらいたいです。</p> <p>これに関しては各学校の認識も違ってくると思います。今、発言してもらった委員は、東浦中学校で指導してもらっているのですが、そちらだと人数が多いので心配ということはよく承知しています。東浦中学校は大変なのかなというのは想定されますが、意見の中にあつたように、小学校で余っている楽器の調査はしています。ある程度、文化センターにも持って来ています。そういった物は使えるのかなというところまでは見えているのですが、子どもたちがどれくらい入って来るかだとか、他の学校から融通できるのかとか、そういったところを実際に動きを見ながら指導者の方と現場の先生方と一緒に意見を出し合いながら考えていきたいと思っています。</p>
委員・・・	<p>それはいつ頃結論が出るのでしょうか。現場ではもう年度が変わる訳です。そして、小学校にあるのは金管楽器なのです。フルートとかクラリネットとかサキソフォンとか、そういう楽器は小学校にはほとんどないのです。だから、その楽器を希望する子は使えなくなってしまうという現実問題があるので、子どもファーストという観点で考えれば、子どもたちが希望する楽器をちゃんと提供できるシステムを町として作ることが大切だと思っています。至急、一定の予算も含めて保証を取ってもらわないと、やってみたら大変だったということだと現場も困ってしまうので、是非お願いします。</p>
事務局・・・	<p>ご意見ありがとうございます。予算については、すぐに対応できるというものではないので、その時期にできる限りのことをやっていきたいと思っています。</p>
委員・・・	<p>「Sgrum」は指導者も登録するのですか。</p>
事務局・・・	<p>指導者用のページもあるのですが、年度初めは混乱を招くと思うので指導者に関しては同じやり方でしてもらいます。活動が安定したところで、指導者にもアプリを導入してもらおうと考えています。機能を全開に開ければ指導者からも個人に連絡ができるのですが、そういった機能はカットさせてもらうので、スケジュール、お知らせ、参加者数、会員の数を確認できるだけになります。</p>

2 協議事項

会長・・・	1 番の東浦町の新たな地域クラブ活動に関する方針について資料4をお願いします。
事務局・・・	<p>資料4をご覧ください。地域クラブの将来的な方向性を定めるもの案になります。昨年度この協議会をスタートしたときも、我々事務局からすると、まず将来像を描いてからでないとういうクラブを立ち上げることはできないということを中心として主張させてもらっていました。しかし、その中でも部活動が令和5年9月から縮小されるということに変わりはないという状況でしたので、将来像が確定していない中ですが、運営しながら将来像を考えていくという方法もあるのではないかと委員からの意見を基に考えを切り替え、どうしたら令和5年9月から地域クラブを立ち上げられるかということを中心に話し合いを進めて今まで運営してきました。4月に新入生が入って来ることよって、また活動の流れが大きく変わると思いますが、将来像についても検討を始めて、令和6年度中にはかたちにしていけたらと思ひ、案を作成しました。</p> <p>たくさんの文章がありますが、特に意見を頂きたい部分は大枠の流れの部分になります。ページとしては6ページ、7ページです。</p> <p>7ページの図で新たな地域クラブの全体像として令和5年から令和年10年までの地域クラブの在り方を表にまとめました。その中で、第1期、第2期、第3期と3つのカテゴリーに分けて発展の仕方をイメージしています。第1期、第2期、第3期については、次のページでイメージ図として載せているので、そこで説明します。</p> <p>さらに7ページの下、将来的には平日に活動を拡大するパターンや今中学生のみとしています。小学生を対象として加えることで、小学校から中学校という切れ目がありますが、地域クラブでは小学校の内から継続して取り組むといったような仕組みを将来的なビジョンとしては考えています。</p> <p>次に、第1期、第2期、第3期についてそれぞれ説明していきたいと思ひます。</p> <p>8ページをご覧ください。8ページが第1期のイメージ図です。これが今の現行のかたちでもありますが、右上運営主体として教育委員会が運営主体となっております。上にこの協議会があり、意見等を頂きながら運営していきます。</p> <p>その下に地域の人材と書いてありますが、地域の方々に人材バンクに登録してもらひ、我々はその人材に対して養成講習会を実施してひがし</p>

	<p>うら地域クラブの指導者に認定し、ひがしうら地域クラブの指導をしてもらうという流れです。</p> <p>中学生からすると、我々が運営しているひがしうら地域クラブを選択してもいいですし、左の方にある既存のスポーツや文化芸術活動の団体を選択することもできます。そして、青色の左の団体についてですが、中学生の受入れが可能という団体は「aispo!D0!」や「まなびの森ひがしうら」に登録してもらい、一緒に子供たちに情報を提供して、これだけの選択肢があります、選んでくださいという形で現在は取り組んでいます。</p> <p>第2期、ここの変わるところなのですが、運営主体は教育委員会です。ひがしうら地域クラブも今年度の途中で新規クラブを立ち上げましたし、来年度も立ち上げができたかと考えている部分もあるのですが、進んでいくと、およそクラブの全体のかたちができると思います。</p> <p>町内の部活動に関しては、土日の練習だけ行いません。大会に関しては精選しますが学校から出ます、というものが現在学校が出している部活の在り方です。この第2期は令和7～8年あたりにしているのですが、この辺りになると部活動の改革がさらに進むかもしれないということで、地域クラブとしては新しく立ち上げるだけではなく、中の活動をさらに会員に対してニーズに応えられるように幅を広げていきたいと思っています。よって、右下の方に活動の方針とありますが、親しむ活動、交流会、練習試合、これが今ですね。この時期になったら、親しむ活動、交流会、練習試合に加えて大会等への参加も目指して行きたいと考えています。プラス、ひがしうら地域クラブ以外に公認クラブというのを選定して、これも含めて地域クラブとして扱っていききたいと思っています。前々からの協議で話題になっていましたが、元々部活動をやっていた土日の午前午後は、地域クラブがあるので現在はほとんど一般には貸し出していません。地域クラブは発展させていく予定ですが、前の話で空いたところがあったという話があったと思います。確かにその通りで、ずっと地域クラブが立ち上がらないのに施設が空いたままになるというのはもったいないと思っています。特に、アンケートで学校の施設を使うことが子どもたちにとって参加の決め手になっている、参加しやすい条件になっているので、公認のクラブを認めていき空いた場所に補充していくということを考えています。では、どういうクラブを認定していくのか、これからもっと厳選していく必要があるのですが、もちろん中学生が中心の活動で非営利団体。ひがしうら地域クラブの発達の段階にもよりますが、大会とかを目指していききたいというときに、ひがしうら地域クラブにそれだけの力がなかったら、特に大会等に</p>
--	---

	<p>出場の実績があるところをあえて公認していった、そちらから出られる道を提供していく。もしも、ひがしうら地域クラブで十分大会等に出られているいろいろなニーズに応える力があれば、ひがしうら地域クラブにない種目、部活動以外の種目も立ち上げたいと思っているのですが、なかなか子どもたちの参加料を上げないように考えていると難しいところがあります。よって、そういったところを公認クラブとして入れて幅を広げていくというようなことを考えています。地域クラブは、今はひがしうら地域クラブですが、ここから公認クラブを含めて地域クラブと呼ぶ、これが第2期です。</p> <p>10 ページが第3期です。</p> <p>第2期で公認クラブとひがしうら地域クラブとを含めて地域クラブという枠が固まってきて、業務がこういうふうに動いていくよということが確定したところで業務内容をまとめて、今までは教育委員会が運営主体となっていました、運営主体を企業やNPO、大学等に運営主体を委託するような流れを考えています。</p> <p>東浦町は教育委員会が主体となってやっていますが、他の自治体で教育委員会が主体となってやっているところは少ないのではないかと思います。どちらかと言うと、どこかにお願いをして運営をしてもらうというのが多いので、この時期ぐらいになると、近隣市町でそういった運営をするところが結構出てきているのではないかと想像しています。例えばの話ですが、他市の運営者が東浦町の運営も一緒にやってくれるとか。また、日本福祉大学とか至学館大学の方とも話をさせてもらっていますが、大学もこちらの方に興味をもってくれているので、そういうところが乗り出してそちらに委託するというような可能性が、今より高まってくるのではないかと思いますので、こういった流れをビジョンとして作りました。</p> <p>もちろん活動をしていく中で、どんどんと変わってくるものではありますが、この大枠の流れについて、いろいろな立場の方がいるので意見がもらえれば、こういうことも考えないといけないということが想定できますので、よろしく願いいたします。</p> <p>最後に、イメージ図の後に募集案内を付けています。今、ちょうど学校から子どもたちに募集案内を配っていて、22日金曜日から募集を開始します。またご覧ください。</p>
会長・・・	先ず、資料4について質問はありますか。
委員・・・	この1期、2期、3期でこの時には中学校の部活動はどういうふうな

事務局・・・	<p>状態になっていると想定しているのか教えてほしいです。</p> <p>1期までは今の状態が続いていると思います。現行の中学生が引退するまでです。その先はまだ決定はしていませんが、ただ国の現状ここから元に戻って増えることはないので、さらに改革が進むと思います。休日の活動が縮小することを考えると、大会等への出場が減っていくというふうに見込んでいます。</p>
委員・・・	<p>教育委員会とも話をして方針が決まっていますので伝えておきます。</p> <p>今の中学校1年生、今年度在学の生徒については、現状は土日は試合だけです。まずこれは大前提で練習はしません。1週間前だけ練習試合可です。大会は精選し、町内の大会、町内だけでやる大会は出ない、という規定でやっています。それは今の中学校1年生が3年生になる夏の大会まではその方針でやっていきます。そして、来年度入って来る新しい1年生についても同じ規定で2年生の夏までは上の学年が土日試合に出ますので出ていきます。でも、2年の夏から3年の夏まではもう土日は一切やりません。ただし、この子たちは最後の夏のコンクール、大会は参加することを可とします。その裏付けとしては先程あったように、この第2期で大会参加というのが出て来ていますので、地域クラブからいろんな種目の試合が出られるという根拠を基に、3中揃ってそういう方針を今度の新入生には話します。もっと早くに大会に出られるようになったら出られるのかな、バスケットボールについてはそういう動きもあるようなので、さっきの保険のことが心配でしたが、もしかしたらクリアできるのかなというところが今の方針です。</p> <p>今度の1年生は、土日は、2年生の夏までは3年生と一緒に出るよ、それ以降は土日はやらない。でも、最後の大会だけは学校から出られるよ、ということ。その間はどうかとなると、地域クラブに立ち上がっているの、そこへ参加して大会参加と書いてありますのでそこから出られるといいよな。現状としては、今東浦町で学校に部活があって地域クラブにないというのは、水泳、軟式テニス、陸上競技で、そのクラブが立ち上がっていくといいのかなと思っています。これが今の3中学校の方針です。</p>
委員・・・	<p>平日については、その間はずっと活動できるのでしょうか。</p>
委員・・・	<p>とりあえず、令和8年度の夏までは今のところ活動します。ただし、かたち次第ではその後どうしていくかは今検討中です。</p>

委員・・・	3期の段階で、部活動はどのようなかたちになるのか伺いたい。
委員・・・	<p>こんなふうになっていたらいいというものになりますが、例えば吹奏楽だと3中学校で立ち上げてもらったので、すごくいいなと思っています。本校だと半分程度参加していますが、きっと子どもたちは比較的大会に向かっている子だと思うので、平日学校で練習して、休日は地域クラブで練習して大会等を目指せるといいなと思っています。指導者はとても熱心に取り組んでくれているので、そういうかたちもありなのかなと思っています。あとは、教員の兼職兼業が東浦町ではできないことになっていますが、労働時間を守ればできるのが世の中のルールなので、そこを教育委員会からまた答えをもらえればと思っています。それが可能になれば、やりたい教員がいたらお金をもらいながら活動に参加できるので、そういうかたちになればいいなと思っています。できれば、時間の問題はありますが、平日も17時から18時半まで地域クラブで活動するなど、そういうビジョンを町がもってくれれば、ますますよいと思っているのが学校です。</p>
会長・・・	<p>資料4の10ページに記載があるように、運営主体が株式会社かNPO、社団法人が大学などの学校法人に移って、それぞれを受けもってもらおうというふうになっていくだろうと思っている。全部を受けもってくれるところがあればなおよい。しかし、国が動かなくなってしまったので、どのようになるか分からなくなってしまった。以前は、どんどんと情報が公開されていたので、10年後には先ほど校長が述べたようなかたちになるだろうと思っていたが、今は正直クエスションです。校長が述べたのはあくまでも理想であるということを理解しておく必要がある。</p>
委員・・・	<p>町としては、3期の段階で部活動がどのような状態になっていると想定しているか。</p>
事務局・・・	<p>部活動については、常に学校の動きを把握しながら取り組んでいく必要があると考えていますが、現状の部活動よりは活動量が減少していくことになると予想しているため、環境が整っているクラブに関しては、大会等への出場も目指して活動の幅を広げていこうと考えています。</p>
委員・・・	<p>平日の部活動はなくなってしまうのかということを知っているのですが、どう考えていますか。</p>

事務局・・・	<p>東浦町は、まず休日の活動から取り組んでいくこととしており、資料の中にも将来的なビジョンとして平日の活動について検討していくということを書いていますので、第3期の時点では、平日の部活動は残っているという認識で、資料を作成しています。</p>
委員・・・	<p>今、委員が質問をした意図には、このスケジュールの図の中に部活動という欄があって、地域クラブがこの段階のときに部活動はこうなっているということが一目で分かるようなマップみたいなものがあると分かりやすいということだと思う。それぞれの時期の現段階の部活動の方針が分かれば、平日の指導者も確保に動いていこうなどと考えることができると思う。地域クラブの流れはよく分かったが、部活動の流れが分からないのでモヤモヤしている。部活動が今後どうなっていくのかという単純なことが知りたい。今すぐ出すのは無理だと思うので、次のタイミングなどで示されるとありがたい。また、先ほど校長が言っていた東浦町だけが教員の兼職兼業が許可されていないというのは初耳だった。制度的なものを変えないと難しいのかもしれないので、変えることが可能なのか、それともそのまま変えないのかも教えてほしい。やりたい先生もいるだろうし、先生たちが地域クラブに参加できるようになれば、学校との連携も取りやすくなると思う。ただし、元々教員の働き方を改善するという目的も含めてやっていることなので、変えないなら変えないでよいと思いますので、また教えてください。</p>
事務局・・・	<p>今の質問をすべて網羅した回答にはなりません、まず、学校長と教育委員会での話し合いのところで、平日の部活動についても、例えば、朝の活動については、町内ではまだ行っている学校がありましたが、統一を失ってなくなっていく見込みであると聞いています。続いて、平日夕方の部活動についても、現在17時30分までとしていますが、17時までとしていくという方針を3中学校長より聞いています。おのずと学校部活動としての活動時間は減少していくという方向性を校長から聞いています。</p> <p>「ひがしうら地域クラブ」については、学校部活動の完全な受け皿ではないという立ち位置でスタートしています。スポーツ課職員が作成したこの案には、最初は部活動についても7ページのところには別の色の欄があり記載されていましたが、ただ、部活動については学校教育課と学校長で詰めていかななくてはいけない部分があるため、今回の案には記載しないかたちをとりました。今後調整を行い、載せられるタイミングで学校長や教育長の了承を得て、記載をしていく予定です。別の用紙で示</p>

	<p>すのかこの案に記載して示すのかは、今後検討させてもらいたいと考えています。</p> <p>続いて、兼職兼業の部分を説明します。世の中で話題となっているとおり、在校等時間の問題は、東浦町の教員も多く抱えていました。基本的な話をすると、勤務時間は8時20分から16時50分の7時間45分の勤務です。その中で、月の時間外勤務が45時間を超えている教員の割合は多いです。おかげさまで、9月から中学校に関しては解消傾向に向かっていますが、まだまだ45時間を超える教員がいるという現状です。そのような中で兼職兼業を認めていくというのは、視野には入っていますが、まず教員の健康を守るために、45時間を超える教員を限りなく0に近づけてから考えていこうというのがひとつの方針です。ただし、委員のような考え方があることも理解していますので、令和6年度中に何かしらの方向性を出していく予定です。将来的には兼職兼業を認めることができるような勤務状況になるように努めていきたいと思っております。</p>
委員・・・	<p>言っていることは理解できますが、たくさん教員がいてそれぞれなので、残業が極力0に近い教員がいたら、兼職兼業をさせてくださいねというお願いなのです。それを6年度の終わりまで待つ気はないし、4月に可能な人がいたらやれるといいなという話です。みんなの時間が減ったらなどということを言っていたら絶対にできないので、個別に見てほしいです。兼職兼業は校長が許可するものではなく、教育委員会が許可するものですので、ぜひ検討してください。</p>
委員・・・	<p>兼職兼業の定義について教えてください。例えば教員が地域クラブの活動に従事して、月の残業が45時間を超えたらいけないということでしょうか。</p>
委員・・・	<p>そうです。</p>
委員・・・	<p>私はだいぶ超えています。仕事とは別ということですよ。私は、土日ずっと自分のクラブの指導に出ています。謝礼等はありません。それは兼職兼業になるのでしょうか。別枠ですよ。地域クラブは部活動ではないと言いながらも、教員が指導したら業務になるのでしょうか。そこも踏まえて検討いただきたい。</p>
委員・・・	<p>確認ですが、労働時間となるということですよ。</p>

事務局・・・	はい。
会長・・・	兼業なので、謝礼等は地域クラブから出るということです。学校からはお金は発生しません。
委員・・・	拘束時間の問題を言っているのではないのでしょうか。外部指導員をやっていますが、言われた通り、土日の休みはほとんどありません。我々民間も拘束時間の問題として話題になってきていますが、お金をもらっていないなくても、拘束時間があれば、労働時間になるということになってきているということだと思います。
会長・・・	現状では、一般企業などではお金が他から発生しているような活動は、残業時間には含まれてはませんが、今後法律がどのように変わってくるのか変わりませんね。
事務局・・・	兼職兼業の許可について補足します。国から地域クラブ等での兼職兼業について手引きが示されていますが、皆様が思う以上に、厳しい内容となっています。一般企業で言うところの時間外労働時間と地域クラブでの従事時間を合わせた時間が、月 45 時間、年間 360 時間を超える場合は許可してはならないというのが国の正式な通達内容となっています。民間企業ではありえないほどの厳しい内容となっています。よって、出したくても出せないというのが実情であることを理解していただきたいです。繰り返しになりますが、教員の時間外労働時間がほぼ 0 時間の状況にならないと許可が出せないということです。
委員・・・	個別で考えるということでしょうか。
事務局・・・	はい。
会長・・・	運送業界の 2024 年問題と同様に、教員もお金の問題ではなく、労働時間の問題が重要視されてきていますので、現状では教員の従事は難しい状況にありますが、今後も国の動きを注視していきたいと思います。
委員・・・	私たちからすると、教員の専門性は地域の財産だと思うので、それを地域に生かすことができないというのは大変もったいないことだと思うので、そういう観点でも今後考えてもらいたいと思います。やりたい先

<p>会長・・・</p> <p>事務局・・・</p>	<p>生もいると思うので、国へ要望することも含めて検討してもらいたいです。</p> <p>資料5をお願いします。</p> <p>資料5（2）の「ひがしうら地域クラブ」の追加立ち上げクラブについてです。令和6年度はスポーツクラブで1つ、文化芸術クラブで1つの追加立ち上げを検討しています。その中で、スポーツクラブの案について3つ記載しています。案1が最も可能性が高いと考えていますが、それぞれ課題等もありますので、ご意見ください。案1はソフトテニスクラブです。現状、指導者は8名います。登録している方々としては、雨天時のことを考えて、テニスコートと体育館が使える西部中学校で立ち上げたいという考えをもっています。事務局としても、現状西部中学校での活動が吹奏楽クラブだけしか立ち上げられていないので、非常にうれしい申し出だと思ってます。しかし、懸念点として、各校のソフトテニス部顧問に子どもたちの様子を聞くと、競技力を高めたい子はすでに既存のクラブチームに加入している子が多く、地域クラブの主なターゲットは、ソフトテニスに親しみたいという思考の生徒になると考えられます。その場合、西部中学校が活動場所になると、移動の関係で参加者数がなかなか見込めないのではないかという意見をもらっています。単純に参加者数を考えると、3面のコートがある北部中学校での開催とした方がよいかと悩んでいます。あとは、ソフトテニスの用具、特にボールなどに関しては、非常に消耗が早いので、現状のひがしうら地域クラブの中にも、自力で用具を準備して運営しているクラブもありますが、ソフトテニスに関しては、学校の物品を借用して運営するしかないので、共有してもらえないかという課題があります。</p> <p>案2はバドミントンクラブです。現状指導者は3名でギリギリの数ですが、登録している方に聞くと、さらに指導者を増やせる見込みがあるとのことなので、立ち上げることになればさらに増える可能性があります。また、バドミントンは子どもたちに実施したアンケート調査でも人気のあるスポーツで、部活動にないスポーツでもあるので、このひがしうら地域クラブの主旨を広げていくためにもよいクラブとなると考えています。課題としては、ソフトテニスと同様に用具の消耗が早いことが挙げられます。さらに部活動にもないので、活動を行うだけの用具を学校から借用できるか、そして、破損等が起こったときに学校に補填してもらえないかという課題があります。</p>
----------------------------	--

	<p>案3は陸上競技クラブ（ランニングクラブ）です。指導者は3名以上集まっていますが、長距離専門の方が4名、短距離専門の方が1名という状況です。懸念点の1点目は、ランニングクラブとしてしまえば問題はありますが、長距離専門の指導者に偏っていることです。2点目は、登録している方のほとんどが他のクラブ等の指導を兼任しているため、ひがしうら地域クラブの活動日にそろって指導できなくなることが予想され、継続した活動が難しいということです。あとは、現在町内のクラブチームが我々の協力要請に応じて、中学生の受け入れ態勢を拡大してくれています。そこに、「ひがしうら地域クラブ」の陸上競技クラブを立ち上げると、生徒を奪い合う構造となってしまうので、陸上競技に関してはビジョンの第2期にあった公認クラブとして協力要請をしていけないかと考えています。</p> <p>この案の中で、スポーツクラブに関しては、学校から用具を共有してもらえなければ検討もできませんが、ソフトテニスクラブを中心に考えていってよいかというところを皆様から意見をもらいたいところです。また、会場についても、西部中学校と北部中学校と迷っているところがありますので、意見がもらえればと思います。</p>
委員・・・	令和6年度のいつ立ち上げる予定ですか。
事務局・・・	後期の10月を予定しています。
委員・・・	運営に必要なお金はあると思ってよいですか。見込みの160名の会員がいなかったら立ち上げないとか条件はありますか。どれか一つは立ち上がると考えてよいですか。
事務局・・・	令和6年度については、1クラブ分の予算はあります。
会長・・・	ソフトテニスやバドミントンの用具は、特別に消耗が早いので、用具がちゃんと補充できる環境を整えておかないと運営は難しいと思いますね。総合型スポーツクラブでもソフトテニスを立ち上げたことがありましたが、他のクラブと比べて莫大な費用がかかりました。消耗品については、参加料と別に個別に徴収するというような方法をとらないと難しいと思う。
事務局・・・	ひがしうら地域クラブは、どのクラブにも自由に参加することができるクラブであるため、特定の会員から別途費用を徴収するためには、現

	<p>地で指導者にお金の徴収してもらうことになってしまうので、現状は難しいと考えています。徴収するならば会員全員から取ることになりますが、今はできるだけ参加料を低廉な額にしたいため、立ち上げるならば学校の物品を共有するしかないと考えています。</p>
<p>会長・・・</p>	<p>学校のボールをですか。すぐに消耗してしまいますよ。</p>
<p>事務局・・・</p>	<p>もともと、昨年度地域クラブを立ち上げる前の話し合いでは、地域クラブの活動に必要な用具は共有してくれるということになっていました。そして、消耗等した場合は、部活動の予算で補填してもらえということになっていました。</p>
<p>委員・・・</p>	<p>それはお金を入れるから使わせてということですよ。共有できるものはするけど、卓球の時には難しいという話をしましたよね。地域クラブで使って壊れたから部活動で補填してくれというのは筋が通らない話なので、別の方法で考えてください。</p>
<p>事務局・・・</p>	<p>これは事務局から言ったわけではなく、地域クラブを立ち上げてほしいということで、学校側から申し出があったことです。</p> <p>学校からは部活動を縮小するタイミングで地域クラブを立ち上げてほしいという要望がありましたが、学校の都合に合わせたタイミングで消耗品等の予算まで準備することはできないということを伝えたところ、学校の物品を共有するという提案が校長からありました。もちろん、物品を共有すれば消耗したり、破損したりすることは想定できるため、それも補填できないことを伝えると、部活動でも使用するため、部活動で補填していくということをもってもらえたため、その条件のもと地域クラブを立ち上げました。</p>
<p>委員・・・</p>	<p>分かりました。それは撤回します。そんなことはできないということは卓球の時にも伝えましたが、どんどん使っていつてなくなってよいなどということは話した覚えはないです。</p>
<p>事務局・・・</p>	<p>これは昨年度話し合っていた内容です。確かに卓球の時の話し合いで約束が変わったことが分かりましたので、小学校などいろいろなところから物品を集めて、我々の方ですべて準備をしました。軟式野球でも西部中学校の使っていない物品をもらうなど協力してもらいながら、部活動とは別の物品をすべて揃えて運営してきました。</p>

委員・・・	とりあえず、それは置いておいて、ソフトテニスクラブはいいと思っています。なぜなら、やっている子が多いからです。確かにクラブチームで活動している子もいますが、バスケットボールなどと同じでクラブチーム以外の子も多いので、いいと思います。物については考えてください。
事務局・・・	物については、共有できる見込みはないと思ってよいですか。
会長・・・	いいと思います。
事務局・・・	卓球に関しては、小学校の部活動がなくなり、各校で使用していない物品があることを把握していたので、参加料を上げて消耗品等の予算が準備できる前でも運営ができると見込んだので立ち上げましたが、ソフトテニスの場合は物品を用意できる見込みがないので、共有が無理ということであれば、立ち上げを見送るという判断になることもご理解ください。
会長・・・	先ほども言いましたが、特別会費を設定すればできると思います。
事務局・・・	今までの協議会でも話しましたが、本当にありがたいことにたくさんの方が人材バンクに登録いただいています。その要因の一つは、管理等の業務を我々事務局がすべて行い、指導者には指導に専念してもらえ環境を整えているところにあると思っています。前の協議会で委員からも、指導者が現金等を扱うことは大変大きな負担になるので避けてほしいという意見をもらっているので、極力部分的にお金を集めるということはずに運営していきたいと思うので、また案があったらお伝えください。
事務局・・・	続いて、文化芸術クラブについては、生涯学習課から説明します。
事務局・・・	案として総合文化倶楽部の立ち上げを検討しています。立ち上げ時期は年度途中になる予定です。様々な文化芸術活動と記載していますが、文化協会の方を指導者として想定しています。文化協会会長とこれから内容については話し合っていきたいと思っています。文化協会に所属している方からも地域クラブの指導者として従事したいという声も聴いていますので、そういう方々をお願いできればと思っています。

<p>会長・・・</p>	<p>意見はありますか。 それでは次をお願いします。</p>
<p>事務局・・・</p>	<p>(3)「親しむ」活動と「競技力向上を目指す」活動の考え方についてです。認識にずれが生じてしまうといけないので、ここで修正・共通理解を図りたいと思います。もともとの方針では、それぞれのクラブで「親しむ」チームと「競技力向上を目指す」チームの2つを立ち上げるとしていました。しかし、現在の活動の様子を見てみると、子どもたちの趣向は変化していくため、親しみたいと思っていた会員が途中で競技力を試したいという思いになることは十分にあり得るため、「親しむ」と「競技力向上を目指す」を切り離すことは、子どもたちのニーズに十分に答えることができなくなる要因にもなりかねないと考えています。よって、現状活動を拡大しているクラブの方法を継承していくかたちになりますが、母体は1つとして、会員のニーズに合わせて練習試合や交流会等の競技力向上に重きをおいた活動を取り入れていくかたちで発展させていきたいと思っています。</p>
<p>会長・・・</p>	<p>意見はありますか。 それでは次をお願いします。</p>
<p>事務局・・・</p>	<p>(4)夏季(熱中症等)対策についてです。立ち上げは9月からで、一番暑い期間に活動を行っていないため、来年度に向けて対応を考えています。案としては、安全を最優先として、「熱中症アラート発令」「WBGT(熱中症指数)31℃以上」の場合は、活動を中止としたいと考えています。また、吹奏楽などについても、活動中は冷房等があるかもしれませんが、行き帰りに熱中症を発症し、命を落としてしまったというような事例もあるので、基本的には熱中症アラートが発令された場合は、全クラブ中止にしたいと思っています。活動時間を2時間にするなどの対応は各クラブの代表者と相談しながら決めていきたいと思っています。また、※印のところですが、移動時間もあるので開始時間は9時とし、中止や時間変更の連絡はアプリで即時可能となりますので、そちらから通知したいと思っています。以上が案となります。</p> <p>そして、確認したいことは、現状の部活動はどのように対応していますかということと、有料のクラブはどのような対応をしていますかということを確認したいです。最後に、WBGT(熱中症指数)を測定する機器は、どれくらい学校に設置されているかということを確認したいと思っています。</p>

委員・・・	部活動については、案に示されている内容と同じ対応をしています。 機器については、はっきりとした数は分かりませんが、結構な数があると思います。
事務局・・・	それは常設されているものですか。
委員・・・	置いてあるものもあります。夏は外にかけっぱなしにしてあるし、室内は常設されていたと思います。
事務局・・・	この場で細かく確認させてもらえればと思っていましたが、改めて各学校の状況を確認させてもらうということによいですか。
会長・・・	そうですね。
事務局・・・	有料のクラブについて、何か情報があれば教えていただくことはできますか。
委員・・・	サッカーで言えば、夏季は試合等を設定していません。どうしても開催する必要がある場合は、給水タイムやクーリングブレイクなどを設定して行っています。熱中症指数を測定する機器については、協会から各クラブに配付されていますが、測り方には細かい決まりがありますし、場所によっても測り方は変えないといけないので、指導者に判断させるのであれば、それを明確にしてやらないと正確な判断は難しいと思います。
事務局・・・	そうだと、各クラブで測定して判断するのは難しいと考えますか。環境省の熱中症予防サイトで大府の観測値を基準として判断するという方法もありますが。
委員・・・	今はアプリもありますので、活用していくという手もあります。
会長・・・	総合型スポーツクラブも有料ですが、大人が多いのでその場で話し合っ てやめています。または短時間で終了することもあります。子どもが参加した場合も同様です。

委員・・・	バスケットボールに関しても、活動場所に測定器がありますので、それを参考にしています。また、スポットクーラーもありますので、それを活用したり、時間を短くしたりしています。
事務局・・・	ちなみにサッカーについては大会等を行わないそうですが、活動自体は行っていますか。
委員・・・	協会からはやめなさいという指示は出ています。ただし、各クラブで時間を短くするとか、休憩時間を増やすとか工夫をして活動を行うクラブもあります。
事務局・・・	活動が減っても、参加料等のお金は同じだけ徴収していますか。
会長・・・	もちろんそうです。
事務局・・・	いろいろと参考となる情報をありがとうございました。参考にしながら方針を決めていきたいと思えます。
会長・・・	その他についてお願いします。
事務局・・・	その他の内容については、新しい委員に向けたものになりますので、個別に伝えます。

閉会

午後 9 時 00 分

会議録作成者 東浦町部活動の地域移行推進協議会事務局